

令和3年度全国児童自立支援施設職員研修実施要綱

1. 目的 児童自立支援事業に対する認識を深め、職員としての専門的知識を習得し、職務遂行能力および自己啓発意欲を高めることを目的とする。
2. 主催 厚生労働省子ども家庭局
3. 運営 国立武蔵野学院附属人材育成センター
4. 場所 国立武蔵野学院、または国立きぬ川学院
5. テーマ・日程・申込〆切
(各研修の概要は次頁以降の各研修概要のとおり)

研修種別「テーマ」		期 間	会 場	募集人数	申込〆切
1	新任施設長研修 ⑤ <small>※前後期とも必修</small>	前期 R3.5.11 ~ 5.13 【オンライン】	武蔵野	20名	4/9 (金) 必着 【済】
		OJT R3.5.14~9.27	各職場		
		後期 R3. 9.28~9.30 【オンライン】	きぬ川		
2	スーパーバイザー研修	R3.7.13~7.16 【オンライン】	武蔵野	30名	4/16 (金) 必着 【済】
3-1	中堅職員研修 コースⅠ 「発達に課題を抱える子どもの理解と対応」	R3.12.7~12.9 【オンライン】	武蔵野	30名	9/10 (金) 必着
3-2	中堅職員研修 コースⅡ 「子どもの性に関する理解と対応」	R4.1.25~1.28 【オンライン】	武蔵野	30名	
3-3	中堅職員研修 コースⅢ 「性的被害の理解と支援」	R3.12.13~12.17 【オンライン】	きぬ川	16名程度	
3-4	中堅職員研修 短期実習コース 「具体的な支援技術の習得」 <small>「具体的な支援技術の習得」</small>	① R3.11.8~11.12 R3.11.9~11 【オンライン】	武蔵野	8名程度 30名	6/4(金) 6/18 必着
		② R3.9.6~9.10 R3.9.8~10 【オンライン】	きぬ川	10名程度 30名	
4-1	新任職員研修 <small>「基本的な知識と技術を学ぶ」</small> <small>※前後期とも必修</small>	前期 R3.5.25~5.27 【オンライン】	武蔵野	30名	
		OJT R3.5.28~10.19	各職場		
		後期 R3.10.19~10.21 【オンライン】	武蔵野		
4-2	新任職員研修 短期実習コース <small>「子どもの理解と支援」</small> <small>※「①②③」「④⑤」を統合して行う</small>	① R3.6.7~6.11 R3.6.22~23 【オンライン】	武蔵野	各回 8名 程度	4/16 (金) 必着 【済】
		② R3.6.21~6.25 R3.6.22~23 【オンライン】			
		③ R3.7.5~7.9 R3.6.22~23 【オンライン】			
		④ R3.5.17~5.21 R3.8.23~24 【オンライン】	きぬ川	各回10名 程度	
		⑤ R3.6.14~6.18 R3.8.23~24 【オンライン】			

6. 参加申し込み方法

(1) 申込：申込書に必要事項を記入し、公印を押印のうえ、下記申込先に封書にて送付

(2) 〆切：上記表に記載（必着のこと）

※申込数が募集人数を超えた場合は参加できないことがあります。その場合は、事務局からご連絡いたします。

※参加決定通知及び詳細な要綱については、参加所属長宛に概ね研修1ヶ月前に送付します。

7. その他

諸般の事情により、日程及び内容に変更が生じる場合がありますことをご了承ください。

<事務局（申込先）>

国立武蔵野学院附属人材育成センター 研修課

〒336-0963 さいたま市緑区大字大門 1030 番地

TEL 048-878-1260（音声案内2番）

FAX 048-878-1244

E-mail jinzaikusei@mhlw.go.jp

全国児童自立支援施設 新任施設長研修

～本研修は児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第81条に定める要件研修です～

1. 目的 児童自立支援施設の役割について深く理解し、被措置児童等虐待の防止や人材育成等、社会からのニーズに対応できる施設運営について学ぶ。
2. 対象者 施設長として着任予定の者、又は令和2年4月1日以降に着任した施設長
3. 期間 前期スクーリング 令和3年5月11日（火）～5月13日（木）
OJT 令和3年5月14日（金）～9月27日（月）
後期スクーリング 令和3年9月28日（火）～9月30日（木）
(前後期とも必修)
4. 場所 前期スクーリング オンライン
後期スクーリング オンライン
5. 内容 (1) 事前レポート課題
(予定) 前期スクーリング
「施設における子どもの権利擁護の取り組みと課題」
後期スクーリング
前期スクーリング中に決定します

(2) オンライン研修

<前期> 「子どもの権利擁護」と児童自立支援事業に関する概論、施設運営管理

講義1 「児童自立支援概論」

感化院から百年余の歴史を持つ児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶと共に、今後の児童自立支援事業の進むべき方向について考える。また第三者評価の実施、養育指針に基づいた施設運営のあり方と課題について考える。

講義2 「子どもの行動理解のための児童精神医学」

児童自立支援施設に入所する子どもの行動等を理解し、支援を行うために必要な児童精神医学を学び、施設における適切な支援の充実を目指す。

講義3 「施設内における権利擁護」

児童自立支援施設における支援の中で、民法・児童福祉法など、法的な根拠を再確認し、子どもの意見表明権について考える。

講義4 「被措置児童等虐待の防止」

子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。

演習1 「子どもの権利擁護に関する取り組み」

各施設における子どもの権利擁護に関する取り組みについて検討する。

<後期> 児童の自立を支援するための専門性と施設運営

講義5 「施設における養育の質の向上」

施設の健全な運営や養育の質の向上のための職員の育成、教育について、組織マネジメントの観点から考える。

講義6 「家庭支援とソーシャルワーク」

児童自立支援施設において、入所中に限らず子どもに対し、適切かつ継続的なケアを行うためには、児童相談所等との関係機関と協働し、保護者や家庭への支援を行うことが重要である。親子再構築支援も含め、施設において更なるソーシャルワーク機能の強化を考える。

講義7 「女子児童の行動上の問題とメンタルヘルス」

国立きぬ川学院において実践している支援をもとに、女子児童に対する理解と適切な支援方法について考える。

講義8 「施設運営」

子どもの社会的自立に向けて、児童自立支援施設の運営、目的を社会的養育の現場から考察する。

演習2 「事前レポートをもとにしたグループ討議」

見学—前期—国立武蔵野学院

後期—国立きぬ川学院

6. 費用 無料

7. 申込 令和3年 4月9日（金）必着

全国児童自立支援施設 スーパーバイザー研修

1. テーマ 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」子どもの自立支援を展開するために必要なケースマネジメントの手法とスーパーバイズのあり方を学ぶ。
2. 対象者 スーパーバイザー又は指導的立場にある者
3. 期 間 令和3年7月13日（火）～ 7月16日（金）
4. 場 所 オンライン
5. 内 容 （1）事前レポート課題「ケースマネジメントとスーパーバイズ（事例）」
（予定）
（2）オンライン研修
 - 講義1 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。
 - 講義2 「児童自立支援概論」
児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶと共に、今後の児童自立支援事業の進むべき方向について考える。
 - 講義3 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」
子どもの抱える問題が多様化する中で、子どもにとって必要な支援を展開するためのケースマネジメントについて学ぶ。
 - 講義4 「チームアプローチと人材育成」
施設においてより良い支援を行うために職員が連携し、子ども一人ひとりの特性に合わせた組織的、包括的な支援と、人材育成について学ぶ。
 - 講義5 「施設におけるスーパーバイズ」
施設におけるスーパーバイズのあり方を学ぶ。
 - 講義6 「親子関係再構築支援の事例報告」
家族支援において、事例を交えながら実践を学び理解を深める。
 - 講義7 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。
 - 演習 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」
各施設における対応の状況や課題等について検討し、理解を深める。
 - 見学 国立武蔵野学院
6. 費 用 無料
7. 申 込 令和3年4月16日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅠ

1. テーマ 「発達に課題を抱える子どもの理解と支援」
発達障がいのある子どもについて理解し、対応を学ぶ
 2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
 3. 期 間 令和3年12月7日（火）～12月9日（木）
 4. 場 所 **オンライン**
 5. 内 容（1）事前レポート課題「発達に課題をかかえる子どもに対する支援」
（予定）
（2）**オンライン**研修
 - 講義1 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。
 - 講義2 「子どもの発達」
子どもの発達についての総論を学ぶ。
 - 講義3 「発達障がいのある子どもへの理解と対応」
発達障がいのある子どもの理解と具体的対応方法について学ぶ。
 - 演習1・2 「事例検討」
参加者から事例を提出してもらい、支援のあり方などについて検討する
 - 講義4 「虐待が子どもに与える影響」
虐待が子どもの身体的・心理的な発達にどのような影響を及ぼし、発達障がいとの関係やPTSD（心的外傷後ストレス障害）について学ぶ。
 - 講義5 「発達障害とアセスメント」
発達障がいの課題がある子どもを支援するために必要な見立て（アセスメント）の方法について学ぶ。
 - 講義6 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。
- 見学—国立武蔵野学院
6. 費 用 **無料**
 7. 申 込 令和3年9月10日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅡ

1. テーマ 「子どもの性に関する理解と対応」
近年、児童自立支援施設に入所する子どもたちの間において、性に関する問題は増加しており、その結果、施設内及び地域で発生する、性加害・性の被害を受けた子どもには専門的な知識をもった職員による慎重な対応が求められている。本研修ではその対応のあり方や生活臨床と心理臨床の連携のあり方などについて学ぶ。
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
3. 期 間 令和4年1月25日（火）～1月28日（金）
4. 場 所 オンライン
5. 内 容 （1）事前レポート課題「事例～性に課題をもつ子どもへの対応～」
（予定）
（2）オンライン研修

講義1 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。

講義2 「性加害児童の理解と支援」
性加害の理解と支援についての総論を学ぶ。

講義3 「性的な被害を受けた子どもの理解と地域での支援」
性的な被害を受けた子どもへの理解、その家族支援、地域支援について学ぶ。

講義4 「性加害児童への理解と対応、アセスメント」
性加害児童への理解と対応について、施設での実践を踏まえ、その予防も含めて具体的な方法を考える。（演習も含む）

講義5 「性的マイノリティーの理解と支援」
性的マイノリティーについて、正しく理解し、施設内における対応について考える。

講義6 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。

演習1・2 事例検討「性加害児童への対応」

見学—国立武蔵野学院
6. 費 用 無料
7. 申 込 令和3年9月10日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅢ

1. テーマ 「性被害の理解と支援」
性被害を受けた児童への支援を学ぶとともに、実際に施設現場において直面している事例への対応について検討し、児童自立支援施設における性被害を受けた児童への適切な支援について考える。
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
3. 期 間 令和3年12月13日（月）～12月17日（金）
4. 場 所 オンライン
5. 内 容 （1）事前レポート課題「事例検討～性被害を受けた児童への対応～」
（予定）
（2）オンライン研修
 - 講義1 「国立きぬ川学院概況説明」
 - 講義2 「被措置児童等虐待の防止」
子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。
 - 講義3 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。
 - 講義4 「性被害を受けた子どもの理解と生活支援」
 - 講義5・演習1 「性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育」
 - 講義6・演習2 「事実確認面接～生活内で子どもから性被害の開示があったときの対応～」
 - 演習3 「距離感のワーク」
 - 演習4 事例検討「性被害を受けた児童への対応」
 - 実習「寮舎実習」
寮舎実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。
 - 見学—国立武蔵野学院
6. 費 用 無料
7. 申 込 令和3年9月10日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修短期実習コース

1. テーマ 「具体的な支援技術の習得」
国立児童自立支援施設における実習を通して、支援技術や子どもの理解等についてスキルアップを図る。
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など。
3. 期 間 1グループ 令和3年11月9日（火）～11月11日（木）
2グループ 令和3年 9月8日（水）～ 9月10日（金）
4. 場 所 1グループ・・・オンライン
2グループ・・・オンライン
5. 内 容 （1）事前レポート課題「実習に対する具体的課題」等
（予定）
（2）オンライン研修

<1グループ> 国立武蔵野学院

講義1 「国立武蔵野学院概要」

講義2 「施設内における学校教育」

国立武蔵野学院における学校教育のあり方と、施設と学校の連携について学ぶ。

講義3 「社会的養護におけるアタッチメント（愛着）理論の応用」

複雑な養育環境で過ごしてきた子どものアタッチメント形成について、更なる理解と対応を学ぶ。

講義4 「被措置児童等虐待の防止」

子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。

講義5 「社会的養護の動向」

連携を含め、広く社会的養護の現状と将来像等について学ぶ。

実習 「寮舎実習」

寮舎実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。

見学—国立武蔵野学院（観察寮見学、授業見学含む）—

<2グループ> 国立きぬ川学院

講義1 「国立きぬ川学院概況説明」

講義2 「被措置児童等虐待の防止」

子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。

講義3 「社会的養護の動向」

連携を含め、広く社会的養護の現状と将来像等について学ぶ。

講義4 「性被害を受けた子どもの理解と生活支援」

演習1 「距離感のワーク」

演習2 「グループ討議」

実習 「寮舎実習」

寮舎実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。

見学——国立きぬ川学院

6. 費用 第1グループ 無料
第2グループ 無料

7. 申込 令和3年6月18日（金）必着

全国児童自立支援施設 新任職員研修

1. 目的 新任職員として、児童自立支援施設における基本的な知識と技術を学ぶ。
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間 前期スクーリング 令和3年5月25日（火）～5月27日（木）
OJT 令和3年5月28日（金）～10月18日（月）
後期スクーリング 令和3年10月19日（火）～10月21日（木）
※前後期とも必修
4. 場所 前期・後期スクーリング オンライン
5. 内容 (1) 事前レポート課題
(予定) 前期スクーリング
「対応が困難な場面（エピソード）」
後期スクーリング事前レポート課題
前期スクーリング中に決定します。

(2) オンライン研修
＜前期＞
講義1 「児童自立支援概論」
感化院から百年余の歴史を持つ児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶとともに、今後の児童自立支援事業の進むべき方向について学ぶ。
講義2 「安全・安心な生活の保障」
子どもの権利擁護を理解し、子どもにとって安全で安心できる生活の保障について学ぶ。
講義3 「養育者としての役割」
社会的養護のもとで生活する子どもの養育者として、その役割や責任について考える。
講義4 「国立武蔵野学院における寮舎運営」
国立武蔵野学院における寮舎運営について学ぶ。
演習 「グループ討議」
事前レポートをもとに、対応が困難な場面における養育のあり方について考える。

＜後期＞
講義1 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。
講義2 「子どもの生き立ちとアセスメント」
子どもを支援するために必要な見立て（アセスメント）の方法について学ぶ。
講義3 「非行のメカニズムと自立に向けた支援」
子どもの行動上の問題への理解と対応、愛着とアタッチメントの形成について学ぶ。
講義4 「児童自立支援施設職員として～交替制と夫婦制～」
児童自立支援施設における交替制と夫婦制の違いについて学ぶ。
演習 「グループ討議」
事前レポートをもとにしたグループ討議。
見学—国立武蔵野学院
6. 費用 無料
7. 申込 令和3年4月16日（金）必着

全国児童自立支援施設 新任職員研修短期実習コース

1. テーマ 「子どもの理解と支援」
国立児童自立支援施設における実習を通して、基本的な支援の方法を学ぶ。
2. 対象者 児童自立支援施設で勤務経験が2年未満の者
3. 期 間 1・2・3グループ 令和3年6月22日（火）～ 6月23日（水）
4・5グループ 令和3年8月23日（月）～ 8月24日（火）
4. 場 所 1・2・3グループ・・・オンライン
4・5グループ・・・オンライン
5. 内 容 (1) 事前レポート課題「新任職員として困難に感じていること」
(2) オンライン研修

講義1 「児童自立支援概論」
感化院から百年余の歴史を持つ児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶと共に、今後の自立支援事業の進むべき方向について考える。

講義2 「国立児童自立支援施設における支援」
国立児童自立支援施設としての機能や支援について学ぶ。

講義3 「非行のメカニズムと自立に向けた支援」
子どもの行動上の問題への理解と対応、愛着とアタッチメントの形成について学ぶ。

講義4 「被措置児童等虐待の防止」
子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。

実習 「寮舎実習」
実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。

見学 ~~1・2・3グループ 国立武蔵野学院~~
~~4・5グループ 国立きぬ川学院~~
6. 費 用 無料
7. 申 込 令和3年4月16日（金）必着

令和3年度 児童自立支援施設職員研修申込書

研修名	
期間	
場所	国立武蔵野学院 ・ 国立きぬ川学院 (当てはまる方に○をつけて下さい)
備考	食物アレルギー (無 ・ 有 :) 有の場合は品名を記入して下さい
施設名	
申込担当	担当者名 : メールアドレス :
(ふりがな) 参加者名	性別 () 年齢 ()
職名	
職歴 (できるだけ 詳細に)	児童自立支援施設勤務歴【通算】 _____ 年目
<p>以上のとおり、令和3年度児童自立支援施設職員研修に申し込みます</p> <p>年 月 日</p> <p>施設長名 印</p> <p>国立武蔵野学院附属人材育成センター長 様</p>	

※申込時に得た情報は、研修業務(研修会要項の名簿掲載、講師及び見学先への名簿提供を含む)以外の目的で利用しません。